



ゲノム編集とカレーライス



■ゲスト:小泉 望 (こいずみ のぞむ) さん
大阪公立大学 農学研究科 応用生物科学専攻
植物分子育種学研究グループ 教授



ゲノム編集は2020年のノーベル化学賞を受賞した画期的な遺伝子改変技術で、医療や家畜、農作物の品種改良などへの応用が期待されています。日本では2021年にGABAを高蓄積するトマト、肉付きの良いマダイ、成長の早いトラフグの販売が始まりました。今回のサイエンスカフェでは、カレーライスの具材を例にとりゲノム編集の可能性について考えてみませんか？

後半はいつものように気軽な質問タイムです。

2022年12月17日(土) 14:00~16:00

会場: ラスタホール 3F 講座室 (伊丹市立生涯学習センター)

参加費800円・要事前予約・詳細は裏面をご覧ください